

学校名	山形市立山寺小中学校 山形市大字山寺 1 6 5 0 0 2 3 - 6 9 5 - 2 0 4 4	校 長	武田 裕子
		研究主任	神保 幸恵 (小) 後藤 岬 (中)
研究主題	社会で通用する自立した個の力を備えた児童生徒の育成 ～自己調整力を育むカリキュラムマネジメント～（3年次）		
研究主題設定の理由	山寺小学校は全学年が完全複式学級、特別支援学級 2 学級の 5 学級で学習している。また、今年度は中学 1・2 年生も複式学級となった。複式学級や少人数での授業には、異学年の交流が生まれたり教師が一人一人に丁寧に関われたりするというよさがある一方で、多様な考えによる思考の広がりや深まりはなかなか見られないという課題がある。また、児童生徒においては人間関係の固定化による弊害も否めない。 研究主題は、本校の現状を踏まえ、児童生徒が 9 年後に山寺からもっと広い社会に巣立っていくとき、生き生きと自信を持って自分の考えを表現し、多様な人と関わりながら生きていくことができる子供たちであってほしいと考え設定した。「社会に通用する自立した個の力」とは、誰とでも協力できる力、いじめをしないたくましさ、少し難しいことにも挑戦できる力であると考えている。本研究を通して自らの将来の生き方を考えさせながら、主体的に社会の形成に参画する意欲と態度を備えた児童生徒、そして、自分自身を振り返って新たな課題を見つけ、その解決に向けて見通しを立てて行動できる児童生徒を育てたい。 一昨年度は、観光地山寺の豊富な学習材を生かすことができるもの、そして、実際の社会生活につながり、日々の授業とその学びを生かしながら小中が共通して取り組むことができるものは総合的な学習であると考え、全学年が総合的な学習を軸にカリキュラムマネジメント表を作成した。昨年度は、カリキュラムマネジメント表をさらに充実させ、全教職員で共有したことにより、児童生徒の活動を全教員が把握し指導にあたることができた。また、全学年が同日に総合的な活動を行う「1 日生活総合 DAY」を実施したことで、学年を超えて関わったり学び合ったりする姿が見られた。 今年度は、昨年度までに作成したカリキュラムマネジメント表を活用し、各教科と総合とのさらなる連携を検討する。また、昨年度課題として残った「評価のあり方」について研修を深める。さらに、児童生徒が自分の学びを表出し、社会で通用する力を身に付けられるよう、「子供が主体的に学びに向かえる教室の環境整備」についても研究する。		
研究の目標	学校教育目標『郷土「山寺」を愛し、社会に役立つ人間の育成』 重点目標 「考える子ども」「助け合う子ども」「たくましい子ども」 日々の授業とその学びを活用した総合的な学習（校内研究）を通して目標の達成に迫る。		

研究の内容	① 子供の実態を語り、めざす子供像を共通理解していく。 ② 「自己調整力」「個別最適な学び」をどのように実現していくことができるかを学習の個性化という視点で日々の授業で検証し、共有していく。 ③ 総合的な学習を中心とした社会とのつながりを通して、９年間でどのように自己調整力（失敗から学ぶ力・自治力・振り返る力・表現する力）を育てていくのかを系統立てて考え、実践しながら、さらなる学習意欲を持てるような活動の在り方を探る。
研究の方法	① 目指す子供の姿を明確にし、自己調整力を育むための９年間を見通したカリキュラムマネジメント表を作成し、実践しながら評価・改善を加え、より効果的な指導や支援を行っていく。 ② 「自己調整力」「個別最適な学び」についての研修をし、本校ではどのように具現化していくか、日々の授業を通して検証していく。また、積極的に校外の研修に参加し、学んだことを職員会議等で報告していく。<u>今年度は特に「子供が主体的に学びに向かえる教室の環境整備」に力を入れる。</u> ③ 今年度は小学生が「１日生活総合DAY」、中学生が「Yamadera Welcoming Tour」を計画、実施する。 ・「１日生活総合DAY」では、これまでの総合的な学習の学びを発表したり、学びを活用して企画を行ったりする。さらには地域の方から協力していただき、学びを深められるような活動を行う。日程は各学年裁量で、子供たち自身の必要性が高まった時期に設定する。 ・「Yamadera Welcoming Tour」では、相手を想定してガイド文や資料の事前準備を行ったり、山寺についてこれまで学んできたことを外国の方に英語で伝えたりする。実践の中で得られた学び、見えた課題を子供たちと共有し、日々の授業や将来の進路決定につなげていく。 ③ 子供たちが適切な自己評価と自己調整ができるようにするため、また、教員が適切に子供を見取る力をつけるために「評価のあり方」について研修を深める。
研究の計画	①カリキュラムマネジメント表の活用、評価、改善 ①校内研修会 （山形大学名誉教授中井義時氏を講師とした「カリキュラムマネジメント」に関わる研修） ①②小中教員の連携強化（共同教材研究、子供達の姿の共有など） ②県内外研修報告 ③校内研修会（山形大学井上敦夫氏を講師とした総合的な学習に関わる研修） 児童生徒向け総合オリエンテーションにおける目標と目指す子供の資質能力の共有 ③小学校は「１日総合DAY」（～１１月）、中学校は「Yamadera Welcoming Tour」（１０月１５日）の計画、実施、評価

